

## 第1079回教育委員会会議録

- 1 日 時 平成30年4月13日(金) 午後3時00分～午後4時50分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 東村教育長 吉井委員 西野委員 八田委員 南部委員 原委員  
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 吉野企画幹(競技力向上)  
片柳教育政策課長 巣守学校振興課長 清川高校教育課長  
中森課長(高校学力向上) 浦井義務教育課長 山本課長(小中学力向上)  
坂本スポーツ保健課長

### 4 議 題

日程第1 第1号議案 福井県教科用図書選定審議会委員の任命について

日程第2 第2号議案 いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

日程第3 第3号議案 いじめ調査専門委員会委員の委嘱について

### 5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 南部委員 原委員

(3) 議事要録

教育長 本日の日程第1 第1号議案から日程第3 第3号議案、協議報告事項の6については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨発議

—————当該議案を非公開と決する—————

教育長 先日、文部科学省から2017年度英語教育実施状況調査の結果が公表され、福井県は中学・高校の生徒と英語担当教員の英語力がいずれも国の目標を上回り、全てで全国一位となった。

南部委員 英検3級・準2級以上相当の英語力について、その基準はどういう観点で判断しているのか。

義務教育課参事 学校の定期考査、スピーキングテストなどを参考に総合的に判断して、3級を持っている生徒と同程度の英語力をもっていると先生方が判断した。英

検は10月に実施したもので、調査は12月に行っている。試験から調査までの2カ月間でさらに伸びた生徒がいるということも考えられる。

高校では、GTECを受けている生徒が多く、GTECの点数から換算して等級を判断した。全国でもここまでしっかりとした基準で判断している所はなく、福井県はしっかりした基準を持って取り組んでいると考えている。

原委員 今回の結果に私立の生徒は含まれているのか。

義務教育課参事 公立学校の調査だけである。中学生で英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合が50%を超えているのは、福井と東京と石川だけである。高校の英検準2級以上相当の英語力を有する生徒の割合で50%を超えているのは福井だけである。

教育長 私立学校の多い東京の割合は51.6%であるが、私立の結果が入っても福井を超えることはないと思われる。他県との開きは大きい。

西野委員 高校で秋田県での英検受験者が多いのは、何か補助があるからなのか。

義務教育課参事 以前から中学校では補助をしており、調べてはいないが高校でも補助をしていると思う。秋田県で中学生を対象とした補助を始めたのは24、25年ごろで、現在でも続いている。福井県では平成28年から補助を始めた。

教育長 補助について、福井県では英検、GTECのどちらでの受験も認めていたが、秋田県は英検を受験するうえでの補助だと思われる。

## ◎協議・報告事項

(1) 平成30年度福井県高等学校入学者選抜学力検査の結果について

八田委員 試験時間は、一教科どれぐらいか。

高校教育課長 他県は50分が多いが、福井県は60分で行っている。その分、他県と比較すると問題量のボリュームも若干多くなっている。

学校教育幹 英語は放送テストが15分入るので、実際は45分で解かなければならない。

原委員 選択問題のAとBでそれぞれ何校ずつ受験しているのか。

高校教育課長 普通科設置校では足羽高校がA問題、それ以外はB問題、職業系では福井商業がB問題、それ以外はA問題である。

教育長 問題の選択は各学校に任せている。無回答の率をできるだけ低くし、子どもの頑張りを見たかったが、まだ若干無答率が高かった。来年に向けて考え

ていきたい。

(2) 平成30年3月県立高等学校卒業者の就職状況について

八田委員 就職内定者の離職率が高いということを聞いたことがあるが、高校卒業者の離職率の数字についてはどうなっているのか。

高校教育課長 離職率は3年を経過して数字を出しているのですが、確認をして報告する。各学校では、産業人材コーディネーター、就職担当、担任を含めて、離職率が高くならないように取り組む。現在は、なかなか就職できないような状況ではないので、離職しないようにしっかりとしたマッチングをしていきたい。

西野委員 職業系の高校の進学率については増えているのか。

高校教育課長 商業系の学校の進学率は高く、平均5割ぐらいである。工業系の学校では、ほとんどの生徒が就職する。5月1日現在での進路実態調査を行うので、後日結果を報告する。

学校教育幹 福井商業は7割が進学するが、短大、専門学校に進学して戻ってくる生徒が8割いるので、全体で9割弱が県内で就職している。商業系は文系の学科なので、進学しても県内に戻ってくる生徒は多い。武生商業についても同じようなことが言える。結果的には、商業系も工業系も福井県で就職する生徒は多い。

(3) 平成30年度全国学力・学習状況調査について

(4) 教育相談体制の充実について

南部委員 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの役割の内容とどのような連携を行っていくのか。

義務教育課長 スクールカウンセラーは心理の専門家で、教室に入れたい生徒や学校に通えない生徒に対して面談をしたり、教員や保護者に対して助言したりする。  
スクールソーシャルワーカーは、福祉の専門家で、家庭訪問を行い家庭での状況に応じてアドバイスをしたり、関係機関につないだりしていく。

教育長 持っている資格が違うのか。

義務教育課長 スクールカウンセラーは臨床心理士、スクールソーシャルワーカーは社会福祉士の資格を持っている。

南部委員 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携もあるのか。

義務教育課長 必要に応じて連携している。担任や部活動の担当など、その子に関わって

いる人たちが集まって会議を開き、その子の状況の見立てをしてから、それぞれどんな役割を担っていくのかを話しあい、支援していく。

西野委員 教育相談担当教員養成研修は、希望者のみの参加なのか。

義務教育課長 4年間で県内全小中学校数の2倍にあたる教員が研修を受けている。

西野委員 1人が4年間継続して参加するのか。

義務教育課長 4年間のうち1年間参加する。

高校教育課長 高校は、30代、40代の教員全員がどの年かに参加することになっている。

#### (5) 平成31年度福井県公立学校教員採用選考試験の日程について

原委員 日程の公表のやり方はどうするのか。

学校振興課長 本県のホームページ、新聞等でも取り上げてもらえるよう働きかける。

原委員 教員採用選考試験の説明会は実施しているのか。

学校振興課長 福井県内では、5月19日にユ一・アイふくいで開催する。県外でも、東京、名古屋、大阪でそれぞれ開催していく。大学に出向いて、各大学でも実施する。県内では福井大学、県立大学、仁愛大学、県外では金沢、富山、上越教育大学、ほかに中京、関西、東京の方でも実施する予定である。

南部委員 どの程度の人数が説明会に参加しているのか。

学校振興課長 事前に各大学で伝えているので、東京や大阪でもかなりの人数が参加している。昨年度、東京会場では37名、名古屋会場では41名、大阪会場では40名が参加した。県外では、県内出身の学生が多い。そこで募集要項も配布している。

吉井委員 東京会場、名古屋会場など、福井県単独で実施しているのか。

学校振興課長 東京、名古屋、大阪では、福井県単独で開いている。それ以外の会場でも、就職セミナーなどに参加して、説明会や紹介を行っている。

教育長 日程第1、第1号議案を議題

義務教育課長 資料に基づき説明

教育長 第1号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

教育長 日程第2、第2号議案を議題

義務教育課長 資料に基づき説明

教育長 第2号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

教育長 日程第3、第3号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

教育長 第3号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

#### ◎協議・報告事項

(6) 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインについて

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後4時50分